

放流通知文の見直しについて



H30 クレストゲート点検放流の様子

令和 元年 6月

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

三春ダムの概要（ダムの諸元と目的）

管理開始：平成10年4月【21年経過】

河川名：阿武隈川水系大滝根川
位置：福島県田村郡三春町

《ダムの目的》

防災操作（洪水調節）(F)

流水の正常な機能の維持(N)

かんがい用水の供給(A)

上水道(W)

工業用水(I)

《諸元》

型式：重力式コンクリートダム

ダムの高さ：65.0m

ダムの長さ：174m

流域面積：226.4km²

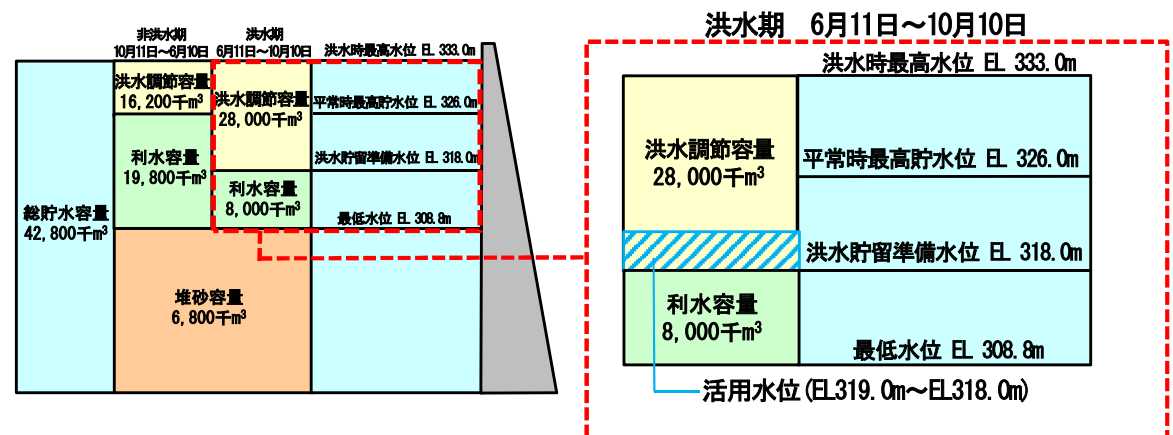
湛水面積：2.9km²

総貯水容量：42,800千m³



H27.8撮影

貯水池容量配分図



1. 放流通知文とは

1. ダムからの放流により、下流河川の水位等に著しい変化を生じると認められる場合に、関係機関に通知するもの。
2. 通知時期・通知先等の基準については「三春ダム操作規則・細則」に定められている。

三春ダム操作規則（抜粋）

（放流に関する通知等）

第26条 所長は、ダムから放流することによって流水の状況に著しい変化を生ずると認める場合において、これによって生ずる危害を防止するため必要があると認めるときは、細則に定めるところにより関係機関に通知するとともに、一般に周知させるため必要な措置を執らなければならない。

三春ダム操作細則（抜粋）

（放流に関する通知等を行う場合）

第10条 所長は、次の各号の一に該当する場合においては、規則第26条の規定により関係機関に通知するとともに、一般への周知を行うものとする。

- 一 コンジットゲートから放流を開始するとき。
- 二 クレストゲートから放流を開始するとき。
- 三 第8条第1項に規定する基準を超えて放流するとき。
- 四 第8条第2項の規定により放流を行う場合において、下流に急激な水位の変動を生じると予想されるとき。
- 五 その他、下流に急激な水位の変動を生じると予想されるとき。

（放流に関する通知等を行う範囲）

第11条 規則第26条に規定する通知すべき関係機関は、別表第1に掲げる機関とする。
2. 規則第26条に規定する一般に周知させるため必要な措置は、三春ダム警報所前警報所までの範囲とする。

（放流に関する通知等の方法）

第12条 規則第26条に規定する放流に関する通知等は、次の各号に定める方法により行うものとする。

- 一 関係機関に対する通知は、第10条に規定する放流を開始する約1時間前に行うものとする。
- 二 一般に周知させるため必要な措置は、別表第2に掲げる警報所により行うものとする。
 - イ ダムに設置されたサイレンの吹鳴は、第10条に規定する放流を行う約30分前及びびる分前に行うものとする。
 - ロ ダム以外の警報所のサイレンもしくはスピーカー（擬似音によるもの）の吹鳴は、各警報所地点の水位が上昇すると予想される約30分前に行うものとする。
 - ハ イ、ロに規定する措置のほか、警報車による下流の巡視を行うものとする。
- 三 サイレンもしくは擬似音による吹鳴の方法は、次に定める方法によるものとする。

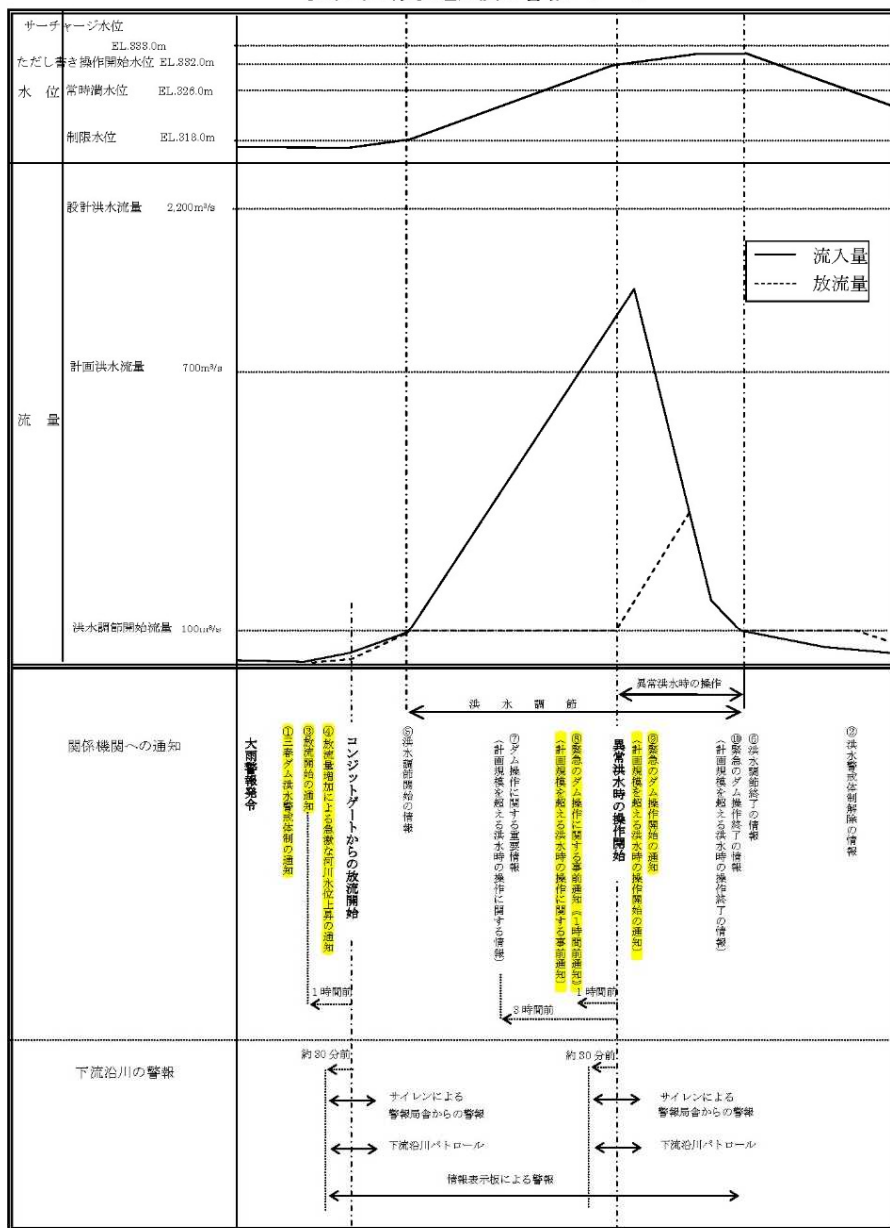
吹鳴	休止	吹鳴	休止	吹鳴
30秒	10秒	30秒	10秒	30秒

（放流に関する通知等の内容）

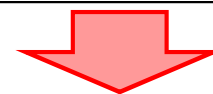
第13条 前条第一号に規定する通知は、放流する日時のほか放流量又は放流により上昇する下流の水位の見込みを示して行うものとする。

2. 防災操作（洪水調節）と放流通知のタイミング

—洪水時の放流通知及び警報パターン



- 通知時期は左の表のとおりとしている。
- 主なものとして、
 - ・ 洪水警戒体勢に関するもの
 - ・ 放流の開始・終了等に関するもの
 - ・ 防災操作（洪水調節）に関するもの（異常洪水時防災操作・特別防災操作含む）



今回、防災操作（洪水調節）のうち、

異常洪水時防災操作

に関する通知へ「避難勧告等に関するガイドライン」（内閣府、H31.3改定※）の警戒レベル相当情報を追加することで、関係機関及びダム下流沿川住民へダム放流に伴う影響を周知することとなった。

※内閣府 防災情報Webサイト「避難勧告に関するガイドラインの改定（平成31年3月29日）」参照
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/index.html

※ ①などの丸数字は、様式番号
 なお、 は受信確認が必要。

3. 「警戒レベル相当情報」の追記の目的

○平成30年7月豪雨を踏まえ、気候変動の影響等により今後も施設規模を上回る異常洪水が頻発することが懸念される中、そうした事態に備え、より効果的なダム^①の操作や有効活用^②の方策、ダムの操作に関わるより有効な情報提供等^③のあり方について、ハード・ソフト両面から検討することを目的に国土交通省で検討会を設置。3回の検討会を開催し「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実に向けて」（提言）としてとりまとめられた。

検討会における平成30年7月豪雨におけるダムに関する主な論点

- 異常豪雨によってダムの洪水調節容量を使い切ってしまうことに対し、
 - ・事前放流により、より多くの容量を確保できないか
 - ・異常洪水時防災操作に移行する前の通常の洪水調節段階により多くの放流ができないか
 - ・気象予測に基づく操作を行うことはできないか
- ダムの操作に関わる情報が住民の避難行動に繋がっていないことに対し、
 - ・平常時から浸水等のリスク情報を提供し、認識の共有を図ることが必要ではないか
 - ・情報提供を「伝える」から「伝わる」、さらには「行動する」ように変えることが必要ではないか
 - ・情報提供を市町村長の判断に直結するよう変えることが必要ではないか



対策の基本方針

- ①ハード対策（ダム再生等）とソフト対策（情報の充実等）を一体的に推進
- ②ダム下流の河川改修とダム上流の土砂対策、利水容量の治水への活用など、流域内で連携した対策
- ③ダムの操作や防災情報とその意味を関係者で共有し避難行動に繋げる

3. 「警戒レベル相当情報」の追記を必要とすることとなった背景

○「ダム操作に関わる情報が住民の避難行動に繋がっていない」ことに対し、論点と対応すべき課題として挙げられたものは以下のとおり。

論点	対応すべき課題
V. 平常時からの情報提供 ～認識の共有～	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム下流河川における浸水想定図が作成されていないなど、リスク情報が住民等に十分に周知されていないこと ・ダムの機能や操作（異常洪水時防災操作を含む）が十分に認知されていないこと ・<u>ダムの操作に関する情報等が災害時の適切な行動に十分に活用されていない（平常時からの備えが行われていない）</u> こと 等
VI. 発災時の住民への情報提供 ～「伝える」から 「伝わる」「行動する」へ～	<ul style="list-style-type: none"> ・住民等に緊急性や切迫感が必ずしも十分に伝わっていないこと ・<u>市町村の避難勧告等の発令と連携しつつ情報伝達範囲や手段の充実が求められること</u> ・ダム下流の住民にダムの貯水池の状況（特に貯水位の変化）が十分に伝わっていないこと ・多くの防災情報があるにもかかわらず利用されていない（情報過多、アクセス性が悪い等） 等
VII. 緊急時の市町村への情報提供 ～判断につながる情報提供～	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ダム操作に関する情報やその意味、伝達されるタイミングなどが市町村長に認知、共有されていない</u> こと ・<u>ダム放流情報等と避難情報の発令等の関連が明確になっていない</u> こと 等



「ダム放流情報（異常洪水時防災操作）」と「避難情報の発令」等の関連を明確化するため、「警戒レベル相当」情報を追記することとなった。

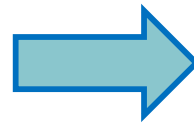
4. 異常洪水時防災操作に関する通知の見直し

- 異常洪水時防災操作に関する通知について、以下のとおり変更する。

① 通知時期の変更

○H30年度まで

- ・ 操作開始 3 時間前情報
- ・ 操作開始 1 時間前通知
- ・ 操作開始時通知
- ・ 操作終了時の情報



○H31 (R1) 年度から

- ・ 操作開始 (3時間以上) 前情報※
- ・ 操作開始 3 時間前情報
- ・ 操作開始 1 時間前通知
- ・ 操作開始時通知
- ・ 操作終了時の情報

※予測可能な場合のみ。

② 通知内容の変更

- ・ 「警戒レベル相当情報」の追加
- ・ その他、語句等の修正

4. 異常洪水時防災操作に関する通知の見直し

○「警戒レベル」（相当情報）の追加

様式-7
ダム連絡 情報

ダム操作に関する重要情報
(計画規模を超える洪水時の操作に関する情報)

平成 年 月 日 時 分
三春ダム管理所
発信者:

避難勧告等の事前措置の検討をお願いします

計画規模を超える洪水時の操作に移行する場合には、河川水位は上昇しており洪水氾濫のおそれがあります。この操作に移行する場合は、概ね1時間前に事前通知します。
三春ダムでは現在、洪水調節を行っています。
今後、計画規模を超える流入量が予想されるため、日 時 分頃から洪水調節方法を変更し、計画規模を超える洪水時の操作に移行する可能性があります。
今後の降雨状況によっては、住民避難等の準備が必要です。

1. ダム状況 (日 時 分現在) 数字は速報値

流入量: m^3/s
※洪水時最高水位: EL 333.00 m ※旧名称: ナチナジ水位

放流量: m^3/s
貯水位: EL m
調節量: m^3/s

2. 雨量状況・河川水位状況 数字は速報値

雨量情報	流域平均	
	種別	時間
時間雨量	mm/時	(日 時 ~ 日 時)
累計雨量	mm	(日 時 ~ 日 時)

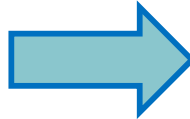
河川情報	赤沼観測所	
	観測所名	河川水位
河川水位	m	(日 時 分現在)

大滝根川赤沼地点

現在の水位 (m)

※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報のホームページ インターネット: <http://www.river.go.jp> 携帯サイト(i-mode): <http://i.river.go.jp>
三春ダムホームページ: <http://www.thr.go.jp/miharu/>



通知-7
ダム連絡

管理部長	専門官	専門員	管理員	電気係長

至急 三春ダム

【重要通知 異常洪水時防災操作※ 3時間前】

令和 元年 5 月 10 日 11 時 40 分
三春ダム管理所
発信者: 片妻

<ダム操作に関する通知>
阿武隈川水系大滝根川三春ダム(福島県田村郡三春町)では、現在、防災操作(洪水調節)を行っています。
今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水をためられなくなり、下流に流れる水量が増える異常洪水時防災操作を 5 月 10 日 13 時 05 分頃から実施します。
そのため、洪水氾濫のおそれがあります。
移行する場合は、概ね1時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意して下さい。
※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください

警戒レベル相当 ・ダム下流の河川で水量が増加し、氾濫のおそれがあり。
・**避難勧告等の措置が必要。**

ダム情報 (5 月 10 日 11 時 40 分現在) (値は全て速報値)

雨量状況・河川水位状況 (値は全て速報値)

雨量情報	流域平均	
	種別	時間
時間雨量	124 mm/時	(10 日 10 時 ~ 10 日 11 時)
累計雨量	332 mm	(10 日 8 時 ~ 10 日 11 時)

河川情報	赤沼水位観測所	
	観測所名	河川水位
河川水位	2.15 m	(10 日 11 時 40 分現在)

大滝根川赤沼地点 (赤沼水位観測所 (福島県田村郡山田町赤沼))

現在の水位 (2.15 m)

※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報 : PC: <http://www.river.go.jp> スマートフォン: <https://www.river.go.jp/s/>
(川の防災情報) i-mode: <http://i.river.go.jp>
三春ダムWebサイト: <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

必ず受信確認を以下の連絡先へ連絡願います。(FAX返信または電話)

<連絡先> 三春ダム管理所 TEL: 0247-62-3145 FAX: 0247-62-1109(NTT) 772-339(マイクロ)

発信機関	発信者	発信日時	受信機関名	受信者	受信日時
三春ダム管理所	片妻	5/10 9:00			

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム下流(放流量)を急々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

5. 各通知文の概要

様式	通知文書 正式名称	概要	住民周知内容の有無
通知-1	洪水警戒体制の通知	管理所としてゲートからの放流の可能性 があるため、洪水警戒体勢を執る	無
通知-3	放流開始の通知	コンジットゲート・クレストゲートから の放流を開始する1時間前通知	有 (①)
通知-4	放流量増加による 急激な河川水位上昇の通知	規則細則を逸脱して放流量を増加させる 際の通知	有 (②)
情報-5	防災操作（洪水調節）開始の情報 ※受信確認不要	防災操作を開始した旨の情報（ダムへの 流入量が100m ³ /sを超えた）	無
情報-11	ダム操作に関する連絡 ※受信確認不要 <○時間前通知>（3時間以上前の通知）	異常洪水時防災操作に移行する可能性が 出てきた	有 (③)
通知-7	ダム操作に関する重要情報 <3時間前通知>	異常洪水時防災操作に3時間後に移行する 予定	有 (④)
通知-8	緊急のダム操作に関する事前通知 <1時間前通知>	異常洪水時防災操作に1時間後に移行する 見込み	有 (⑤)
通知-9	緊急のダム操作開始の通知	異常洪水時防災操作を開始	有 (⑥)
情報-10	緊急のダム操作終了の情報 ※受信確認不要	異常洪水時防災操作の終了	有 (⑦)
情報-6	防災操作（洪水調節）終了の情報 ※受信確認不要	防災操作を終了した旨の情報（ダムへの 流入量が100m ³ /sを下回った）	無
情報-2-(1) 情報-2-(2)	洪水警戒体制解除の通知 ※受信確認不要	ゲート放流の可能性が低くなったため、 警戒体勢を解除した	無
情報-13	特別防災操作開始の情報 ※受信確認不要	特別防災操作を開始した	有 (⑧)
情報-14	貯水池低下のための放流に関する情報 ※受信確認不要	平常時最高水位から洪水貯留準備水位へ の移行のための放流を開始する	無
情報-15	リフレッシュ放流に関する情報 ※受信確認不要	河川環境の改善のため、一時的に放流を 実施する	無

6. 周知したい内容の詳細

① 放流開始の通知

1. 趣旨

コンジットゲート（常用洪水吐ゲート）からの放流を開始する。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

ダムから一定の水の量を流し始めるが、下流河川の流域に被害の出る流量では無いため、河川内に入っている方や、河川の側で作業をしている方は注意して欲しい。

通知-3
ダム連絡

管理所名	市町名	郡名	管理種別	緊急連絡係名

三春ダム放流開始の通知

令和元年5月10日9時10分
三春ダム管理所
発信者：片寄

<ダム操作に関する通知>

阿武隈川水系大瀬根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では 5月10日10時10分から 30 m³/sの放流を開始します。
ダムは防災操作（洪水調節）に活用する空容量を確保するため、ダム流量（放流量）を 5月10日12時頃には 100.00 m³/sまで増加させる予定です。
下流河川の水位上昇に注意してください。

放流開始の目的	事前放流	今後の洪水調節に備えて、貯水水位を EL. _____ mに低下させ、洪水調節に活用する空容量を確保する。
	予備放流	今後の洪水調節に備えて、貯水水位を EL. _____ mに低下させ、洪水調節に活用する空容量を確保する。
	貯水水位維持	今後の洪水調節に備えて、洪水時貯留準備水位※1 EL. 318.0 m（又は平常時最高貯水水位※2）を維持し、洪水調節に活用する空容量を確保する。
	その他	()

※1：旧名称：制水水位、※2：旧名称：常時湛水水位

・ダム下流河川の水位上昇に注意して下さい。

ダム情報 (5月10日9時10分現在) (値は全て速報値)

流入量: _____ m³/s (1時間前より約 _____ m³/s増加)
ダム水位: EL. 318.00 m (1時間前より約 0.02 m上昇)
放流量: _____ m³/s (1時間前より約 _____ m³/s増加)
貯水率 (有効容量): 約 _____ % (1時間前より _____ %上昇)

※ダム情報 : PC: <http://www.river.go.jp> スマートフォン: <https://www.river.go.jp/s/>
(川の防災情報) i-mode: <http://i.river.go.jp>
三春ダムWebサイト: <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

必ず受信確認を以下の連絡先へ連絡願います。(FAX返信または電話)

<連絡先> 三春ダム管理所 TEL: 0247-62-3145 FAX: 0247-62-1109(NTT) 772-339(マイクロ)

発信機関	発信者	発信日時	受信機関名	受信者	受信日時
三春ダム管理所	片寄	5/10 9:00			/

6. 周知したい内容の詳細

② 放流量増加による急激な河川水位上昇の通知

通知-4
ダム連絡

管理所名	寄附者	寄附種	管理機名	電文送信機名

三春ダム放流量増加による急激な河川水位上昇の通知

令和元年5月10日9時10分
三春ダム管理所
発信者：片寄

**ダムからの放流量を増加！
河川水位の上昇に注意！**

阿武隈川水系大滝根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では、ダム下流量（放流量）を
15 m³/s から 100 m³/s に増加させる予定です。
下流河川の水位上昇に注意してください。
また、河川内へ立ち入らないように注意してください。

放流量増加の目的	予備放流	今後の防災操作（洪水調節）に備えて、貯水位を EL. 318.00 m に低下させ、防災操作（洪水調節）に活用する空容量を確保する。
	貯水位維持	今後の防災操作（洪水調節）に備えて、洪水時貯留準備水位 ^{※1} （又は平常時最高貯水位 ^{※2} ）EL. 318.00 m を維持し、防災操作（洪水調節）に活用する空容量を確保する。
	その他	()

※1 旧名称：制限水位 ※2 旧名称：常時満水位

・ダム下流河川の水位上昇に注意して下さい。河川内に立ち入らないように注意して下さい。

ダム情報 (5月10日9時10分現在) 河川水位状況 (5月10日9時10分現在)
(値は全て速報値)

大滝根川赤沼地点（赤沼水壱観測所（福島県郡山市中田町赤沼））

流入量：41.18 m³/s
放流量：15 m³/s (1時間前より約 65%/s増加)
約 1 m³/s増加

ダム水位：EL. 318.00 m
(1時間前より約 0.15 m上昇)

貯水率(有効容量) 約 0% %
(1時間前より約 1% %上昇)

予想水位 (2.15 m)
現在の水位 (0.39 m)

※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報 PC: <http://www.river.go.jp> スマートフォン: <https://www.river.go.jp/s/>
(川の防災情報) i-mode: <http://i.river.go.jp>
三春ダムWebサイト: <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

必ず受信確認を以下の連絡先へ連絡願います。(FAX返信または電話)

<連絡先> 三春ダム管理所 TEL: 0247-62-3145 FAX: 0247-62-1109(NTT) 772-339(マイクロ)

発信機関	発信者	発信日時	受信機関名	受信者	受信日時
三春ダム管理所	片寄	5/10 9:00			/ /

1. 趣旨

規則から逸脱した形で、放流量が増えていくため、河川の中にいる場合は注意が必要

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

ダム下流河川の水位が急に高くなる可能性があるため、川から出たり、川の側から離れて欲しい

6. 周知したい内容の詳細

③ ダム操作に関する連絡<〇時間前> (警戒レベル3相当)

情報-11
ダム連絡
 情報

管理部長	専門官	専門職	管理係長	電気通信係長

至急

三春ダム

【重要情報 異常洪水時防災操作※ 〇時間前】

令和 元 年 5 月 10 日 11 時 40 分
 三春ダム管理所
 発信者: 片寄

<ダム操作に関する連絡>

阿武隈川水系大滝根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では、現在、防災操作（洪水調節）を行っています。

今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水を貯められなくなり、下流に流れる水量が増える異常洪水時防災操作に、且、且、**時間から移行する可能性があります。**

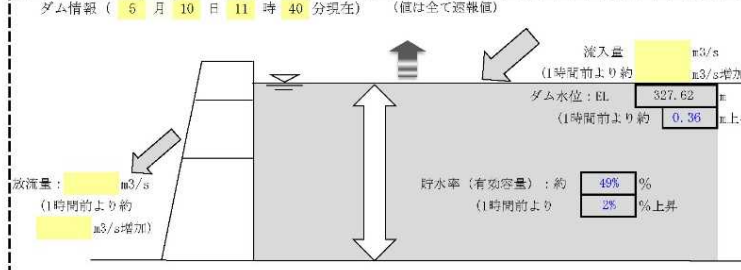
移行する場合は、概ね1時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意して下さい。

※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください。

警戒レベル3相当

- ・〇時間後に、異常洪水時防災操作に移行する可能性あり。
- ・避難準備・高齢者等避難開始の措置が必要。

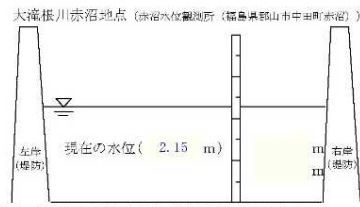
ダム情報 (5 月 10 日 11 時 40 分現在) (値は全て速報値)



雨量状況・河川水位状況 (値は全て速報値)

種別	流域平均	
雨量情報	時間雨量	124 mm/時 (10日10時~10日11時)
	累計雨量	332 mm (10日8時~10日11時)
河川情報	観測所名	赤沼水位観測所
	河川水位	2.15 m (10日11時40分現在)

大滝根川赤沼地点 (赤沼水位観測所 (福島県郡山市中田町赤沼))



※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報 : PC : <http://www.river.go.jp> スマートフォン : <https://www.river.go.jp/s/>

(川の防災情報) i-mode : <http://i.river.go.jp>

三春ダムWebサイト : <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム下流量(放流量)を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

1. 趣旨

〇時間後にダムに水が貯められない状況になる可能性が出ており、下流への放流量を増加させる必要があるため、下流河川住民に避難の準備をして欲しい。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

3時間以上先の予測だが、ダムに水が貯められない状況となる可能性が出てきて、放流量を規定量※以上に増やす必要が生じる可能性があるため、避難の準備をして欲しい。

※規定量：100m3/s

12

6. 周知したい内容の詳細

④ ダム操作に関する重要情報<3時間前通知> (警戒レベル4相当)

通知一ツ
ダム連絡

管理部長	専門官	専門員	管理係長	電気係係長

至急 三春ダム

【重要通知 異常洪水時防災操作※ 3時間前】

令和 元 年 5 月 10 日 11 時 40 分
三春ダム管理所
発信者： 片寄

<ダム操作に関する通知>
阿武隈川水系大滝根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では、現在、防災操作（洪水調節）を行っています。
今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水をためられなくなり、下流に流れる水量が増える異常洪水時防災操作を 5 月 10 日 13 時 05 分頃から実施します。
そのため、洪水氾濫のおそれがあります。
移行する場合は、概ね1時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意して下さい。
※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意下さい。

警戒レベル4相当

- ・ダム下流の河川で水量が増加し、氾濫のおそれがあり。
- ・避難勧告等の措置が必要。

ダム情報（5 月 10 日 11 時 40 分現在）（値は全て現時値）

流入量： 〇〇 m³/s
(1時間前より約 〇〇 m³/s増加)
ダム水位：EL 329.99 m
(1時間前より約 1.25 m上昇)
放流量： 〇〇 m³/s
(1時間前より約 〇〇 m³/s増加)
貯水量（有効容量）：約 67% %
(1時間前より 9% %上昇)

雨量状況・河川水位状況（値は全て現時値）

種別	流域平均
時間雨量	124 mm/時 (10 日 10 時～10 日 11 時)
累計雨量	332 mm (10 日 8 時～10 日 11 時)
河川情報	観測所名 赤沼水位観測所
河川水位	2.15 m (10 日 11 時 40 分現在)

大滝根川赤沼地点（赤沼水位観測所（福島県田村郡中田町赤沼））

現在の水位（ 2.15 m）

※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報：PC：<http://www.river.go.jp> スマートフォン：<https://www.river.go.jp/s/>
（川の防災情報）i-mode：<http://i.river.go.jp>
三春ダムWebサイト：<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

必ず受信確認を以下の連絡先へ連絡願います。（FAX返信または電話）

<連絡先> 三春ダム管理所 TEL：0247-62-3145 FAX：0247-62-1109(NTT) 772-339(マイクログ)

発信機関	発信者	発信日時	受信機関名	受信者	受信日時
三春ダム管理所	片寄	5/10 9:00			/

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム下流（放流量）を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

1. 趣旨

3時間後にダムに水が貯められない状況になる予定のため、避難をして欲しい。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

3時間先の予測だが、ダムに水が貯められない状況となる可能性が出てきたため、避難を始めて欲しい。

5. 周知したい内容の詳細

⑤ 緊急のダム操作に関する事前通知<1時間前通知> (警戒レベル4相当)

通知-7 ダム連絡	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">至 急</div>	三春ダム
--------------	---	------

【重要通知 異常洪水時防災操作※ 3時間前】

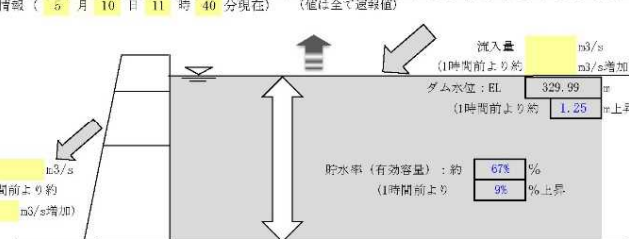
令和 元 年 5 月 10 日 11 時 40 分
三春ダム管理所
発信者： 片寄

<ダム操作に関する通知>
阿武隈川水系大滝根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では、現在、防災操作（洪水調節）を行っています。
今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水をためられなくなり、下流に流れる水量が増える**異常洪水時防災操作を 5 月 10 日 13 時 05 分頃から実施**します。
そのため、洪水氾濫のおそれがあります。
移行する場合は、概ね1時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意して下さい。
※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意下さい。

警戒レベル4相当

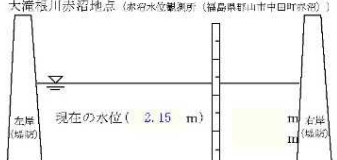
- ・ダム下流の河川で水量が増加し、氾濫のおそれがあり。
- ・避難勧告等の措置が必要。

ダム情報（5 月 10 日 11 時 40 分現在）（値は全て速報値）



流入量：1.25 m³/s (1時間前より約 1.25 m³/s増加)
流出量：1.25 m³/s (1時間前より約 1.25 m³/s増加)
ダム水位：EL 329.99 m (1時間前より約 1.25 m上昇)
貯水量（有効容量）：約 67% (1時間前より約 9% 上昇)

雨量情報		流域平均
種別	時間	124 mm/時
	雨量	(10 日 10 時～10 日 11 時)
	累計雨量	332 mm
	雨量	(10 日 8 時～10 日 11 時)
河川情報		観測所名 赤沼水位観測所
	河川水位	2.15 m (10 日 11 時 40 分現在)



大滝根川赤沼地点（赤沼水位観測所（福島県田村郡山形町赤沼））
現在の水位（ 2.15 m）

※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報：PC：<http://www.river.go.jp> スマートフォン：<https://www.river.go.jp/s/>
 (川の防災情報) i-mode：<http://i.river.go.jp>
 三春ダムWebサイト：<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

必ず受信確認を以下の連絡先へ連絡願います。（FAX返信または電話）

<連絡先> 三春ダム管理所 TEL：0247-62-3145 FAX：0247-62-1109(NTT) 772-339(マイクログ)

発信機関	発信者	発信日時	受信機関名	受信者	受信日時
三春ダム管理所	片寄	5/10 9:00			/

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム下流（放流量）を急遽に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

1. 趣旨

1時間後にダムに水が貯められない状況になる見込みのため、早急に避難して欲しい。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

1時間先の予測で、ダムに水が貯められない状況となる可能性が出てきたため、早急に避難を始めて欲しい。

6. 周知したい内容の詳細

⑥ 緊急のダム操作開始の通知（警戒レベル4相当）

通知-9
ダム連絡

管理課長	専門課	専門課	管理係長	電気課係長
------	-----	-----	------	-------

至急 三春ダム

【重要通知 異常洪水時防災操作※開始】

令和 元 年 5 月 10 日 14 時 40 分
三春ダム管理所
発信者： 片寄

<ダム操作に関する通知>
阿武隈川水系大滝根川三春ダム(福島県田村郡三春町)では、ダムの防災操作のための容量を使い切る見込みとなったため、5月且且 時 分に異常洪水時防災操作を開始しました。

警戒レベル4相当 ・ダム下流の河川で水量が増加し、氾濫の危険あり。
・避難指示(緊急)等の措置が必要。

ダム情報 (5月10日14時40分現在) (値は全て速報値)
ダムの防災操作のための容量が減少し、ダムに水を貯められなくなり、下流に流れる水量が増えています。

雨量状況・河川水位状況 (値は全て速報値)

雨量情報	種別	流域平均
	時間雨量	124 mm/時 (10日10時~10日11時)
河川情報	観測所名	赤沼水位観測所
	河川水位	2.15 m (10日11時40分現在)

大滝根川赤沼地点(赤沼水位観測所(福島県郡山市中田町赤沼))
現在の水位(2.15 m)

※現在、赤沼地点では計画高水位・危険水位等は設定されておりません。設定され次第、情報として表記します。

※ダム情報 : PC: <http://www.river.go.jp> スマートフォン: <https://www.river.go.jp/s/>
(川の防災情報) i-mode: <http://i.river.go.jp>
三春ダムWebサイト: <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

必ず受信確認を以下の連絡先へ連絡願います。(FAX返信または電話)

<連絡先> 三春ダム管理所 TEL: 0247-62-3145 FAX: 0247-62-1109(NTT) 772-339(マイクロ)

発信機関	発信者	発信日時	受信機関名	受信者	受信日時
三春ダム管理所	片寄	5/10 9:00			/

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水貯留容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム下流(放流量)を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

1. 趣旨

異常洪水時防災操作を開始したため、ダム下流河川の水位が急上昇し浸水被害が起こる可能性がある。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

異常洪水時防災操作を開始したため、ダム下流河川の水位が急上昇し、はん濫が発生する恐れがある。避難所などへ避難されていない方は、建物の上層階へ移動して欲しい。

6. 周知したい内容の詳細

⑦ 緊急のダム操作終了の情報

情報-10
ダム連絡
情報

管理部長	専門官	専門員	管理部長	電気通信係長

三春ダム異常洪水時防災操作[※] 終了の情報

令和 元年 5 月 10 日 16 時 50 分
三春ダム管理所
発信者: 片寄

<ダム操作に関する通知>

阿武隈川水系大瀧根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では、放流量（流下量）が計画最大のダム流下量（計画最大放流量）を下回ったため 月 日 時 分に異常洪水時防災操作[※]を終了しました。

今後、ダム水位を低下させるため、現在のダム流下量（放流量）を上限として放流を継続させます。河川水位は引き続き高い状態が続きますので、注意して下さい。

ダム情報（ 5 月 10 日 16 時 50 分現在）（値は全て速報値）

流入量: 333.56 m³/s (1時間前より約 m³/s減少)

放流量: 333.56 m³/s (1時間前より約 m³/s減少)

ダム水位: EL 333.56 m (1時間前より約 0.36 m低下)

貯水率（有効容量）: 約 96% % (1時間前より 3% %)

雨量状況・河川水位状況（値は全て速報値）

雨量情報	種別	流域平均
	時間雨量	124 mm/時 (10 日 15 時～ 10 日 16 時)
	累計雨量	332 mm (10 日 8 時～ 10 日 16 時)
河川情報	観測所名	赤沼水位観測所
	河川水位	2.15 m (10 日 16 時 50 分現在)

☆ダム情報 : PC : <http://www.river.go.jp> スマートフォン : <https://www.river.go.jp/s/>
 (川の防災情報) i-mode : <http://i.river.go.jp>
 三春ダムWebサイト : <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

※ 異常洪水時防災操作とは、大きな出水によりダムの洪水調整容量を使い切る可能性が生じた場合、ダム流下量（放流量）を徐々に増加させ、流入量と同程度の流量を放流する操作のことです。

1. 趣旨

異常洪水時防災操作を終了した。今後、ダム下流河川の水位は徐々に下がり始める。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

異常洪水時防災操作を終了しました。ダム下流河川の水位は徐々に下がり始めますが、まだ水位が高い状況のため、川に近寄るのは止めて欲しい。

6. 周知したい内容の詳細

⑧ 特別防災操作開始の情報

情報-13
ダム連絡
情報

空室検索	空室申込	空室検索	空室検索	空室検索
------	------	------	------	------

三春ダム特別防災操作[※]開始の情報

令和元年5月10日9時30分
三春ダム管理所
発信者：片寄

<ダム操作に関する連絡>

阿武隈川水系六瀬根川三春ダム（福島県田村郡三春町）では、
5月10日9時30分から特別防災操作[※]を開始します。
今後、ダム流下量（放流量）を 5.5 m³/s（利水量除く）とし、ダム流下量（放流量）を上回る流入量をすべてダムに貯留します。

※「特別防災操作」は、下流河川において洪水被害が発生、または発生する恐れが生じ、下流河川管理者または自治体等の要請があり、ダムへの貯留が可及と判断された場合、下流被害の更なる低減を目的として実施される操作です。

ダム情報（5月10日9時30分現在）（値は全て通報値）

流入量：m³/s (1時間前より約 m³/s増加)
ダム水位：EL. 320.52 m (1時間前より約 0.35 m上昇)
貯水率（右室容量）：約 10% (1時間前より 1% 上昇)
放流量：m³/s (特別防災操作後 m³/s)

雨量状況・河川水位状況（値は全て通報値）

雨量情報	種別	流域平均
	時間雨量	90 mm/時 (10日8時~12日9時)
河川情報	観測所名	赤沼水位観測所
	河川水位	0.48 m (10日9時30分現在)
河川情報	観測所名	阿久池水位観測所(阿武隈川)
	河川水位	0.48 m (10日9時30分現在)

阿武隈川阿久津地点（阿久津水位観測所（福島県山形市阿久津））

現在の水位(7.58 m)
引上げ水位(8.65m)
観測水位(7.90m)

※ダム情報：PC：<http://www.river.go.jp> スマートフォン：<https://www.river.go.jp/s/>
 〈川の防災情報〉i mode：<http://i.river.go.jp>
 三春ダムWebサイト：<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>
 阿武隈川水位・雨量概況：http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/abukuma_gaikyou/suii.html
 (福島河川国道事務所Webサイト)

1. 趣旨

下流河川管理者・自治体などから要請があり、特別防災操作を開始した。

2. 管理所から住民へ伝達したい内容

阿武隈川の水位が上がる幅を小さくするため、河川管理者・自治体などから要請があつて特別防災操作（ダムからの流下量を極端に少なくする操作）を開始した。今後、ダム下流河川の上昇は緩やかになるが、引き続き通常よりは高いため、川の様子を見に行ったりしない欲しい。

7. 留意点

1. 通知文中で避難について言及しておりますが、実際の避難勧告・避難指示（緊急）については、各市町村（郡山市・三春町等）の正式発表を確認してください。住民が自ら考えるきっかけになるように記載しているところです。
2. 異常洪水時防災操作の周知時には、避難勧告・避難指示（緊急）・避難所等の情報について、各市町村の防災担当窓口を確認の上、同時に周知して頂けると避難の参考となると思います。
3. 通常の防災操作におけるダム下流への放流量は、ダム下流河川で川から水があふれて被害が発生しないような量を設定しています。ダムからの放流が始まる際には河川内から出て、放流中は河川の様子を見に来ることの無いように周知をお願いします。
4. 雨が止んだとしても、三春ダムの貯水位が「洪水貯留準備水位（標高318.0m）」（非洪水期においては「平常時最高水位（標高326.0m）」）に達するまでは、ダムへの流入量よりも流下量（放流量）が多くなります。ダム下流で天候が回復したとしても、河川の様子を確認した上で利用されるように周知願います。

ダム下流河川の浸水想定図について



H30 クレストゲート点検放流の様子

令和 元年 6月

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

防災・減災、国土強靱化 3ヶ年緊急事業

(1-2 リスク情報の空白地帯の解消)

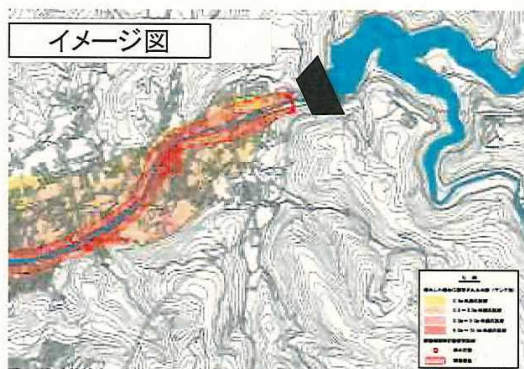
ダム下流部の浸水想定図の作成・公表

- 平成30年7月豪雨では、ダム下流区間等において、住民等が浸水リスク等を十分に認知していない状況で洪水氾濫が発生した状況があったことから、洪水予報河川又は水位周知河川に指定されていない河川においても、想定最大規模降雨により当該河川が氾濫した場合の浸水想定図を作成し、それに基づきハザードマップを作成する市町村を支援するとともに、それらを用いて住民等に対して平常時からリスク情報を提供する。

対策の内容・効果

想定最大規模降雨により当該河川が氾濫した場合の浸水想定図を作成し、それに基づきハザードマップを作成する市町村を支援するとともに、それらを用いて住民等に対して平常時からリスク情報を提供することにより、洪水時における住民等の円滑かつ迅速な避難の確保等を図る。

●浸水想定図の作成



●ハザードマップの作成支援



●住民等への周知

